



体験活動の充実を

副校長 平林 千恵

新学期が始まり三か月が過ぎました。休み時間には校庭でボール遊びや長縄、鉄棒など様々なことに取り組んでいる子供たちの様子が見られます。それぞれ元気に過ごしている姿を見るととてもうれしい気持ちになります。

その中で、一年生と二年生は自分の朝顔や野菜に一生懸命に水をあげています。忘れずに毎日世話をしているため、なすやししとうの実も大きくなってきました。朝顔もつるがのび始めました。葉が日に日に大きくなり、色が濃くなっていく様子を見てうれしそうにしています。本校ではこのように豊かな心を育むことをめざした体験活動に取り組んでいます。

一年生は給食で食べる空豆のさやむきをして、さやのふわふわの様子を知りました。朝顔の観察カードには、自分が育てている植物の成長の様子やこれから大きくなっていく期待も書かれています。二年生は六月に学校のまわりである神宮前の町を探検しました。歩

いてみて、あらためてたくさんのお店があり観光客の多いことに気づき、地域の人たちとの関わりが見えてきました。三年生は渋谷区めぐりをしました。バスで幡ヶ谷の十号通り商店街、郷土博物館、ヒカリエに行き渋谷区の町の様子を見ました。十号通り商店街では老舗の傘屋さん和菓子屋さんのお話を聞いたり、お店の様子を見たりしました。神宮前の町との違いやお店の工夫について知ることができました。四年生は渋谷消防署に見学に行きました。消防車やポンプ車を目の前で見て車の説明を聞きました。隊員の方が消火活動で着る防火服を持ってみると重くてよたよたしてしまふほどでした。設備の工夫や人の努力を感じ、地域の安全が守られていることがわかりました。五年生は七月に東秩父村に出かけ、田植えの体験、ユネスコの文化遺産である手漉き和紙を作ります。また、東秩父村立槻川小学校を訪ね子供たちと交流します。槻川小学校の前にはきれいな水が流れる川があり、校庭も広く自然がいっぱいのところ

ろです。今から楽しみにしています。六年生は先月末の鎌倉のほか、夏休みには日光高原学園に行きます。世界遺産である日光の文化遺産に触れたり、戦場ヶ原をハイキングしたりする活動を楽しみます。

それぞれの学年で様々な体験活動をしています。人や物や実社会に実際にふれ、関わり、直接体験することで実感を伴って理解することができ、実際に体験することができ、豊かな人間性や自ら学び考える力の基盤としての役割が期待されます。自分の五感を使って体験したことはいつまでも忘れずに自分の中に残ります。

九月から、子供たちに一人一台タブレットが導入される予定で、ICTを活用した学習を進める準備をしています。インターネットで調べ物をしたり、タブレットで写真を撮って黒板にプロジェクトを使って映し出したりするなど有効に活用した学習ができます。ますますICTを介して学ぶ間接的な学習が増えてくると思います。が、豊かな心を育むことができます。ような体験活動も大切にしていきたいと考えています。

まもなく夏休みを迎えます。長い休みだからこそできる貴重な体験があります。ご家庭や地域における体験活動を通して、子供たちがさらに大きく成長することを楽しみにしています。

七月の生活指導

身の回りの整理整頓をしよう

七月に入り、子供たちが楽しみにしている夏休みが近づいてきました。学校では、教室をきれいにして夏休みを迎えられるように、清掃や片付けについて週目標として取り組んでいます。

子供たちの中には、整理整頓が苦手な子がいます。よく見ていると、そのような子は、物の置き場所を決めていません。置き場所が決まっていらないので、使ったら元の場所に戻す、ということもできません。適当に机やロッカーの中にしまっているので、どこに何を置いたのかも分からなくなってしまう、物をなくしてしまうこともしばしばあります。記名がされていないば持ち主に戻らないこともあります。

ご家庭ではいかがでしょうか。自分の部屋の整理整頓や清掃の手伝いはできているでしょうか。もしも整理整頓ができていないようでしたら、ぜひ夏休みの間に、物の置き場所を決め、使ったら片付けられる環境作りをしていただければ、と思います。そして、持ち物の記名もお願いいたします。落ち着いた生活は整った環境から、と言われます。学校ではこれからも気持ちよく勉強に取り組めるよう指導してまいります。

(生活指導部)